平成26年度病害虫発生予報第4号（7月予報）

＜今月のコラム＞ ・水稲（二期作）に向けての病害虫防除対策について　・ナスミバエの防除対策について
・カンショにおけるヒルガオハモグリガの被害について　・太平洋高気圧と7月の少雨
・次期作に向けたトマト黄化葉巻病の防除対策について

＜お　知　ら　せ＞ イネヨトウの性フェロモントラップへの誘殺数の推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/h25-ineyo.html

今月のトピックス

軸腐病　（マンゴー）

学名：*Lasiodiplodia theobromae*



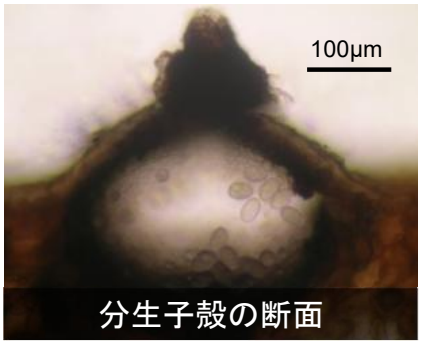
果梗部周辺（左）及び打撲部（右）での病徴



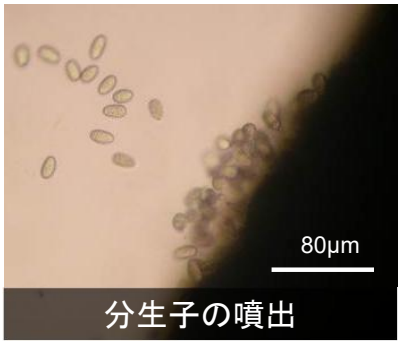
果房先端部の褐変



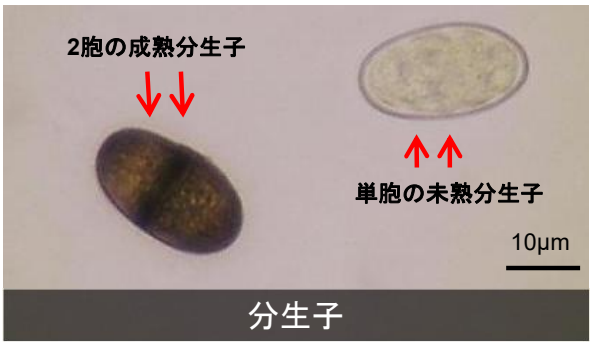
果房上の分生子殻



分生子殻の断面



分生子の噴出



分生子

生態と被害

本病は果実、果房及び枝に発生する糸状菌病害である。主に市場への輸送中に、追熟した果実の果梗部周辺や打撲部で軟化・腐敗症状を示す。施設内での発生は、管理作業時に付いた傷口や果房先端部のせん定痕から病原菌が侵入し、褐変症状を引き起こす。病徴が進行した場合、病斑上に黒色粒状の分生子殻を形成する。分生子殻内には白色・単胞の未熟分生子が形成され、外部へ噴出されると褐色・2胞の成熟分生子に分化する。防除対策として、罹病残さは本病の発生源となるので速やかに施設外へ持ち出し処分する。また、せん定による傷口から病原菌が侵入しやすいため、使用するハサミはこまめに消毒し、併せて薬剤散布を行う。収穫後の対策として、先端部を平らに加工したハンダゴテを用いて果梗部を熱処理すると追熟期の発病が抑制される。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成26年6月27日
沖 縄 県 病 害 虫 防 除 技 術 セ ン タ ー